

チャペル週報

No. 22

2012.11.12～11.16

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
すべてのことに感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて、
神があなた方に望んでおられることです。

(テサロニケの信徒への手紙1 5章16-18節)



神戸三田キャンパス I号館

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月12日(月) 神 中 田 道 隆 (神学研究科M2)
経 舟 木 謙 (宗教主事)
人 「四重唱と賛美歌」 New Directionsと広瀬 康 夫 (吉岡記念館事務室職員)
聖和 聖書物語「エルサレム入城、最後の夕食」

11月13日(火) 神 Ruth M.Grubel (院長)
文 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
社 上ヶ原ハビタット
法 法学部音楽賛美シリーズ 聖歌隊
経 「人間を考える④」 春 井 久 志 (経済学部教授)
商 海外での奉仕を考えるチャペル 上ヶ原ハビタット
国 音楽チャペル ハンドベルクワイア
聖和 オルガンコンサート
総 バロックアンサンブル

11月14日(水) 神 <障害者週間を覚えて> 柳沢マリオ・シーザ
社 動詞シリーズ「つながる」② 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 関 谷 一 彦 (法学部教授)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 海外での奉仕を考えるチャペル「学生によるインド海外研修報告①」
人 藤 川 義 (人間福祉学部4年)
国 志 甫 啓 (国際学部准教授)
聖和 「[力]とは…?」 糸 洲 理 子 (沖縄キリスト教学院学習支援センター)
理 賛美礼拝 理工学部ハンドベル
総 Eco-Habitat関西学院

11月15日(木) 神 嶺 重 淑 (人間福祉学部宗教主事)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 動詞シリーズ「つながる」③ 孫 良 (人間福祉学部教授)
法 法学部音楽賛美シリーズ ハンドベルクワイア
経 「人間を考える⑤」 田 禾 (経済学部准教授)
商 音楽チャペル バロックアンサンブル
国 アジア学院 (Asian Rural Institute)
聖和 「集会所を子どもの居場所に アリエッティのひろばプロジェクト」中野信行 (石巻仮設開成第1・2団地自治会長)
総 フィリピンの女性と子どもと一緒に歩む学生団体「くじら」

11月16日(金) 院 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)
神 藤 井 美 和 (人間福祉学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 「人間を考える⑥」 山 田 仁 (経済学部准教授)
人 音楽チャペル 聖歌隊
聖和 Christian M. Hermansen (法学部教授)
理 映像による礼拝

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
11月16日(金) 国際学部のために 宮 田 由紀夫 (国際学部教授)

関学の原風景

広 岡 正 信

先日、中学部の合同同窓会に出席した。多くの出席者のため会場は満員で熱気にあふれていた。我々の学年もそれなりの人数が集まり、なつかしい思い出話に花が咲いた。それぞれの職場で活躍したり、次のステージでがんばったりと情報交換の場は賑やかであった。私は、幸せなことに母校で後輩たちと毎日を送ることができている。関学との日々の交わりに改めて感謝したい。

中学部に入学して初めての登校は、仁川と甲東園の両駅から交互にいろんな道を使ったものだった。特に、仁川から登校の場合、今のオハラホールから竹林、中央芝生を右に見て、中央講堂近くの松林を抜けて、商学部横から広々としたグラウンドへ。気持ちの晴れるすばらしい空間だった。広々とした風景のなかで印象的なのは、中学部のチャペルの木の香り。当時は、原則、床も椅子も材質は木。柔らかさ、ゆったり感あふれる場所だった。色やにおいと同時に思い出すのが大きな声の讚美歌の響き。自由を重んじる高等部を経て、経済学部のチャペルも同じような場所であった。ただ、礼拝出席者の数は少なかったが・・・。

大学卒業後、十数年、外の世界で過ごし、教員として高等部に戻ってくることができた。野球少年だった私。弱い中学部時代。少しは強くなった高等部時代。よく練習したと思う。2年連続夏の兵庫県大会でベスト8。当時としては、なかなかの成績だ。一番の思い出は、秋の大会で青い稲妻として後に巨人で活躍した松本を擁する報徳に勝ち、県大会で東洋大姫路と対戦。一生に一度の好投をみせ4対2で勝利。甲子園まであと一步。今でもよい思い出だ。

高等部での目標は、もちろん教員として頑張ることであるが、時間的にも精神的にも人生の大部分を費やしている（このことが理解不能だと思うが）野球部の甲子園出場、さらに甲子園で『空の翼』を歌うこと、とした。しかし、現実には厳しい。部員の確保、場所の確保、時間の確保、教員の理解、問題は山積だ。一つずつ、一つずつ解決、安全のための側道ネットの設置から始まった。中島部長先生の退職事業で念願のバックネットの設置にこぎつけた。県下でほとんど最後に近いと思われる。練習場所も少しずつ改善、レールを動き出した貨車は少しずつ転がりだした。秋に地区大会を通過するようになり、県大会出場。着実に地力をつけ、県ベスト4に進出。今まであった保護者会に加えて、OB会も再結成された。

そして、1997年の秋、戦後初の近畿大会出場権獲得。学院挙げての支援をいただき、滋賀の皇子山球場においてオールKGの力で彦根東を圧倒。次の京都成章（夏の準優勝校）に惜敗。この成績をもとに実に63年ぶりの夢の甲子園出場を果たす。春の甲子園は現実のものとなったが、夏に関しては、半信半疑。体力面できついものでは、という心配を皆がいだく中、2000年には決勝進出を果たし、あと一步まで迫った。ついに、2009年の夏、グローバル院長まで決勝の明石球場にお見えになった。暑さと日焼けが心配されたが、選手たちは見事な粘りをみせ、なんと70年ぶりの夏の甲子園出場を掴み取った。甲子園でも力いっぱい戦い抜き、『空の翼』を全国の学院関係者と声高らかに歌うことができた。感無量であった。

今、高等部は元気である。運動部も文化部（グリークラブも全国大会出場を果たす）も、その他の活動も、すべて元気である。少子化のなかで学校の力、真価が発揮されている。正攻法の学院の姿勢がこの活躍の背景だと信じている。建物が立派になり、学生数も増え、心地よい空間が減ったことは、いささか残念ではあるが、歴史の中で、小さい一人ひとりの頑張りがこの学院に満ちている。原風景をいつまでも忘れず、伝えていくのが、残り少ない学院生活での使命と感じている。関学会館を通して、中央芝生を右に見て、時計台の立派な建物と背景の甲山をみて、今日も後輩たちと教室で楽しい時間を共有していきたい。

（高等部教諭）

●2012年度 人権教育研究室研究部会公開研究会

メインテーマ：「今ここにある『貧困』の現実」

パート1 「若者」を取り巻く現場から考える

トークセッション

と き：11月16日(金) 15:10～18:00

ところ：関西学院会館「風の間」

発 題：佐野章二氏（『ビッグイシュー日本』代表）

肥下彰男氏（大阪府立西成高等学校教諭）

川口加奈氏（『Homedoor』理事長）

パネル展示（『ビッグイシュー日本』、『Homedoor』活動紹介）

と き：11月12日(月)～11月16日(金)

ところ：関西学院大学図書館エントランスホール

パート2 サンフランシスコにおける貧困・ホームレス・HIV — 現状とケア体制 —

と き：11月30日(金) 9:00～10:30

ところ：関西学院大学図書館ホール

講 師：Barry D.Zevin氏（医師）

通訳あり

●キリスト教と文化研究センター主催講演会

「日本人の心に届く『ことば』を求めて」-津波を越えて、闇から光へ-

山浦玄嗣（やまうら はるつぐ）氏講演会

と き：11月19日(月) 11:10～12:40

ところ：関西学院大学G号館202教室

山浦 玄嗣氏は、岩手県大船渡市出身の医師。東北大学抗酸菌病研究所放射線医学部門助教授、宮城県で医療法人病院長を歴任し、現在は山浦医院病院長。1966年東北大学医学部卒。ケセン語の提唱者として有名で、1975年頃からケセン語の研究に取り組み、1990年に地方文化振興に尽力したことを認められ、岩手県教育表彰受賞。

カトリック大船渡教会信徒であり、キリスト教関連の著書も多数。「ケセン語訳聖書」はギリシア語の原典から翻訳し、ローマ教皇庁に献上された。

●第192回ランバス演奏会のご案内

「パーセル&キャロル」

平井満美子（歌）、佐野健二（リュート）

演 目：夕べの賛歌、美しい島、さよなら美しい人、リュートブックララバイ、ほか

と き：12月6日(木) 17:00開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。現在までに発売されたデュオCD全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時：12月21日(金) 17:30開場 18:30開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ザ・シンフォニーホールプレイガイド

発売開始日：11月1日(木)